



学びあい 思いあい 高めあいのできる児童の育成

# 学校だより

NAKANOCHO Elementary School

令和2年7月31日(金)



## 7月31日 1学期終業式は校内放送で行いました

今年にはコロナウイルス感染拡大防止のため、2か月近く臨時休業になったり、夏休みが2週間余りと短くなったり、おまけに警報発令による臨時休業が3日間あったりと、なかなか学校生活を送る生活リズムが定着しにくい1学期となりました。3密を防ぐため、いろいろな制約のある中で過ごしてきました。このような中ですが、元気よく学校に来て、暑さをこらえながら頑張っている子どもたちの姿を見ると、子どもたちのもつ柔軟さや我慢強さに、私たち教職員も元気をもらいました。

今年、8月1日～16日が夏休みということで本当に短いです。子どもたちの中には「いつもより夏休みが短くなって残念・・・。」と思っている人もたくさんいると思います。(私もそう思います。) けれど、4月、5月とお休みになってしまったのだから、「仕方がない」、「先に休んだんだから、少し、頑張ろう!」と気持ちを切り替えて、8月後半の授業開始を迎えたいと思います。何か気になることや心配なことがございましたら、遠慮なく学校の方へご連絡ください。

依然として新型コロナウイルス感染拡大が心配される中での夏休みとなります。例年とは同じようにはいかないと思いますが、ご家族で工夫され楽しい時間をお過ごしください。

8月17日(月)に子どもたちに会えるのを楽しみにしております。



### スクールカウンセラーへの相談について

子どもさんのことなど気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。事前に担任か教頭へ連絡いただきますと、相談日時予約を取ることができます。相談は保護者の方でも、子どもさん自身でも大丈夫です。

《スクールカウンセラー》 井上 美幸 (いのうえ みゆき)  
 《来校日》 8月21日(金) 午後14時 ~ 午後17時  
 9月11日(金) 午後14時 ~ 午後17時

これ以降の日程については後日お知らせします。なお、お仕事の都合等で上記の時間が難しい場合はご相談ください。

先日、ある保護者の方から次のような連絡をいただきました。

「子どもが放課後友達と遊んでいた時のことです。自転車を押しながら歩いていたところ、交差点で止まっていた時に左折してきた車がぶつかり自転車が横転してしまいました。その際、降りてきた運転手に「大丈夫?」と聞かれ、「大丈夫。」と答えると、運転手はそのまま車に乗ってさっさと行ってしまったそうです。自転車に乗って遊びに出ていたもののその日はヘルメットをかぶっていませんでした。今回はケガがなかったからよかったです。改めてヘルメットの大切さについて我が家で勉強しなおしました。」という内容のものでした。

これに似たような事は、よく聞くように思います。もし、このような事故にあってしまったら、その時子どもだけだったらどうしたらよいでしょうか。高校生でも「大丈夫?」と聞かれて「大丈夫。」と答えてそのままになってしまうことはよくあることです。あとになってケガが見つかって大事になる場合もあります。

このお話を受けて、2つのことを学校で子どもたちに話しました。

① もし、事故に遭遇したら・・・。

- ・ 近くにいる人に助けを求める
- ・ 警察や学校に電話してもらう
- ・ おうちの人に連絡してもらう

などしましょう。運転していた人は必ず事故をしたときは警察に連絡しないといけないことになっているので、自分一人で勝手に判断して「大丈夫」と言わないようにしましょう。

② 自転車に乗るときは・・・。

ヘルメットを必ずかぶりましょう。自分の命を守ってくれるヘルメットです。友達がかぶっていないからという事を理由にかぶらない人はいませんか。ヘルメットをかぶっておけばよかった・・・と後で後悔しても遅いのです。

明日からの夏休み、子どもたちが事故にあったり、病気になったりせず、元気で過ごしてくれることが一番です。子どもたちの命を守るため、ご家庭で、上記の件についてきちんと子どもさんと話し合ってみてください。お願いします。

皆さんお気づきだと思いますが、これは「当て逃げ」という犯罪です。運転者として大人の私たちは、決して今回のような「大丈夫?」で済ませるような対応はしてはいけません。必ず警察に連絡をしましょう。パッと見た目は大丈夫そうでもそうでないことも多々あります。命を大切にすることも適切に対応していきましょう。



保護者の皆様へ

## 新型コロナウイルス感染症対策 ～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

### 1 毎日の健康観察

- 毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
- 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- 感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。



### 2 手洗いの励行

- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。  
(手指消毒薬の使用も可)



### 3 咳エチケットの徹底

- 咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



### 4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

#### ○「密閉」の回避

- こまめな換気  
気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

#### ○ [密集]の回避

- 身体的距離の確保  
飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

#### ○「密接」の回避

- マスクの着用  
外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。  
室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



### 5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。

- ★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考に工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。